

エコアクション21

環境活動レポート

(2019 年 6 月 1 日 ~ 2020 年 5 月 31 日)



作 成 2020 年 7 月 20 日



山真建設有限公司

目 次

1	環境方針	-----	1
2	事業内容	-----	2
	(1)(2) 事業所名及び代表者氏名		
	(3) 所在地		
	(4) 環境管理責任者及び担当者		
	(5) 事業内容		
	(6) 事業規模		
	(7) 認証範囲		
3	活動組織	-----	3
4	環境経営目標・環境経営活動計画	-----	4
	(1) 現場部門		
	① 環境経営目標と主な取組		
	② 環境経営活動計画		
	(2) 事務所部門		
	① 環境経営目標と主な取組		
	② 環境経営活動計画		
	(3) 全体		
	① 環境経営目標と主な取組		
	② 環境経営活動計画		
5	環境経営活動の取組結果と評価	-----	7
6	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	-----	13
7	代表者による全体評価と見直し	-----	14
8	24期の取り組み内容	-----	16



1. 環境経営方針

【基本理念】

当社は、先祖から受け継いだ自然環境を未来に受けつなげ、人類、動物、植物達にとって住みやすい地球にする為に、環境の保全に努めます。

【行動方針】

当社は主に、土木建設という事業活動を行っており、地球環境を直接改変する側面を持ちます。

このことを認識し、基本理念に基づいて以下の項目にそって会社として、また一個人として社員全員で取り組み、環境負荷の継続的低減を目指します。

1. ICT化の推進

*ICT化を推進し、業務の効率化、早期竣工を目指す。

*ムダ・ムリ・ムラを無くす。(ガソリン・軽油の削減。電気使用量の削減。)

2. 建設事業活動における環境負荷低減に努める

* 分別・リサイクルによる産業廃棄物の減量化の実施

* 材料の有効活用(もったいないと思う気持ち)

* 各現場における環境活動を推進

3. 健康経営・働き方改革・地産地消の推進

4. 環境関連法規を遵守する

5. 各協力会社へ環境方針を周知し、協力を得るよう努める

6. 当社の環境方針や環境活動などを、ホームページを利用し一般に公開する

2019 年 10 月 3 日 改訂

山 眞 建 設 有 限 会 社

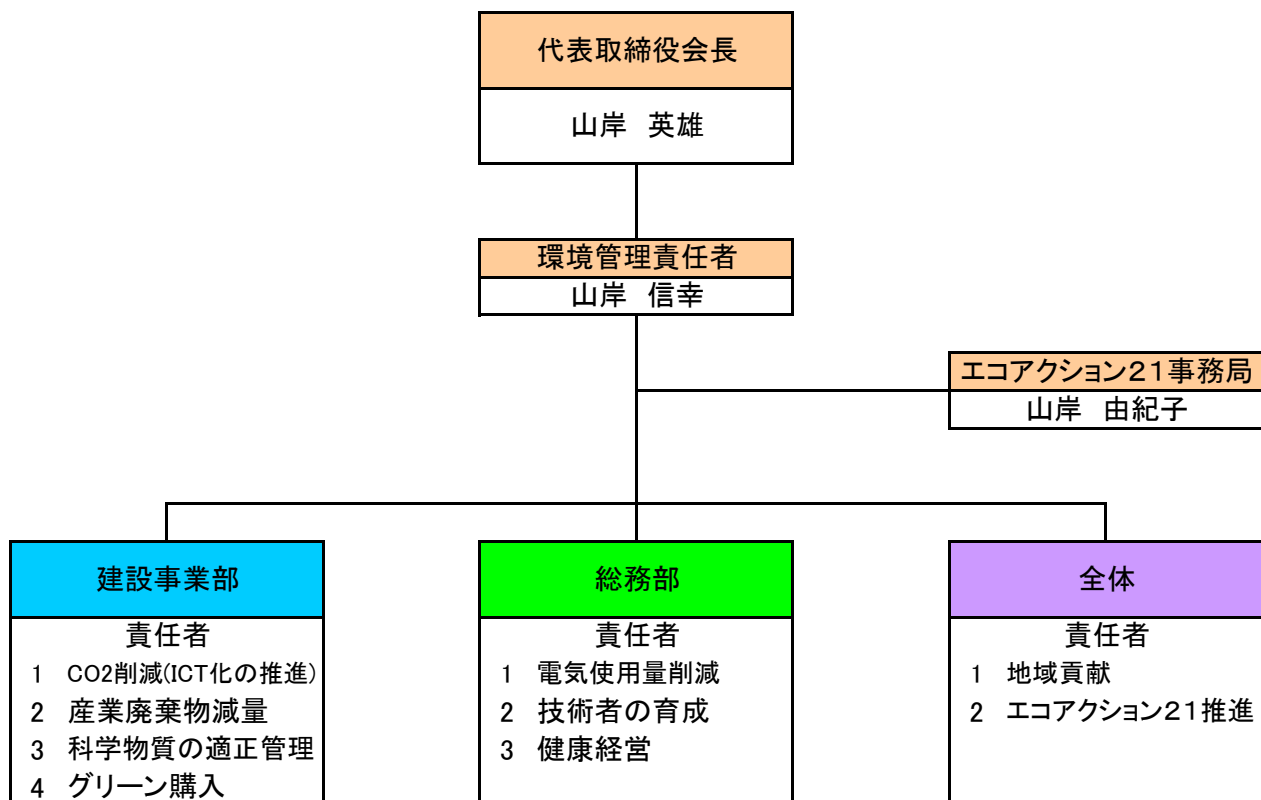
長野県上田市芳田2114-7

代表取締役社長 山岸 信幸

2. 事業内容

(1) 事業所名	山真建設有限会社	
(2) 代表者名	山岸 信幸	
(3) 所在地 ①本社 ②資材置き場	〒386-0151	
	①長野県 上田市 芳田 2114-7 ②長野県 東御市 和3686-6	
(4) 環境管理責任者 及び事務局	TEL	0268-35-3651
	FAX	0268-35-3688
	E-mail	info@yamashin-c.jp
	URL	http://www.yamashin-c.jp
(4) 環境管理責任者 及び事務局	環境管理責任者	山岸 信幸
	事務局	山岸 由紀子
	連絡先	TEL 0268-35-3651 FAX 0268-35-3688 E-mail eco21@yamashin-c.jp
(5) 事業内容	○建設工事業 土木、舗装、管(給排水)、エクステリア	
(6) 事業規模	売上高	290 百万 第 23 期
	従業員数	22 人
(7) 認証範囲	○全社 (本社及び資材置き場)	

3. 活動組織



責任者	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21に関する総括責任 ・エコアクション21の実施及び管理に必要な人、設備、費用、技術などの準備 ・必要な責任者を任命する ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境目標の設定を承認 ・エコアクション21全体の見直しを行い、必要に応じて改定を指示する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション21の管理責任 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口となり、必要な対策を判断し記録を行なう ・法規制等とりまとめ及び遵守の評価 ・環境活動計画を承認 ・各問題点の是正処置、予防処置に関する判断を行い、必要な対策を講じる ・緊急事態への対応の為の手順書作成・訓練・記録 ・エコアクション21事務局と共に、目標に対する定期的な評価を行なう ・環境活動の結果を代表者へ報告
エコアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各取り組みの総合的なとりまとめ及び、目標に対する定期的な評価を行なう ・各月の取り組み状況を把握しデータ管理を行なうと共に、適切な運用に努める ・環境活動レポートの作成
責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・各項目の問題点の発見・是正・予防処置を環境管理責任者と共に実施 ・責任者が各項目ごとに担当者を指名し、結果を取りまとめて定期的に評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・人事だと思わずに「思いやりの心」で取り組む

4. 環境経営目標・環境経営活動計画

(1) 現場部門

① 環境経営目標

環境目標項目	基準	目標と主な取組			
		23期目標	24期目標	25期目標	26期目標
ガソリン、軽油の節約	過去4期の平均使用量 <small>(ガソリン:470.96/月・軽油:1761.18/月)</small>	3%削減	現状維持	現状維持	現状維持
	<small>(ガソリン:454.72/月・軽油:2206.72/月)</small>	3%削減	現状維持	現状維持	現状維持
産業廃棄物の減量化	最終処分排出比 (産業廃棄物排出量-リサイクル量)÷産業廃棄物排出量	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
現場ごとに環境への取組を推進	—	パトロール実施	パトロール実施	パトロール実施	パトロール実施
機械、重機の維持管理	—	点検の継続	点検の継続	点検の継続	点検の継続
使用する化学物質の把握と適正管理	PRTR制度・MSDS	把握と適正管理	把握と適正管理	把握と適正管理	把握と適正管理
環境に配慮した原材料の使用	—	リサイクル材を極力使用 記録の開始	リサイクル材を極力使用 記録の継続	リサイクル材を極力使用 記録の継続	リサイクル材を極力使用 記録の継続

② 23期環境経営活動計画

環境方針	環境目標項目	活動内容
CO2削減	ガソリン・軽油の節約	運転者は燃費を記録簿に記録し、把握する 同じ現場の場合は、乗り合いに努める 急発進・急加速をしない
廃棄物削減・省資源・現場全体の推進	産業廃棄物の減量化 (材料の有効活用)	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パトロールでチェックする
	現場ごとに環境への取組を推進	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パトロールでチェックする
機械、重機の維持管理	機械、重機の維持管理	機械の仕分けを行い、番号ステッカーを貼る 点検記録用紙、点検の手順書を作成する 現場終了時に点検・整備を行い、責任者に提出する (年に1回は機械の点検を行う：5月以降)
		化学物質適正管理
グリーン購入	環境に配慮した原材料の使用	環境に配慮した原材料の使用に努める

(2) 事務所部門

① 環境経営目標

環境目標項目	基準	目標と主な取組			
		23期目標	24期目標	25期目標	26期目標
電気使用量の削減	過去4期の平均使用量の3%(24期～) 使用量・売電量記録と把握	記録・把握	記録・把握	記録・把握	記録・把握
一般廃棄物の計測と削減	過去4期の平均(66.53Kg/年) 過去4期の平均(74.78Kg/年) コピー用紙購入量	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
	過去4期の平均(4,022g/月) 過去4期の平均(4,305g/月) 可燃ごみ量	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
水使用量の削減	過去4期の平均(11.13m ³ /月) 過去4期の平均(10.52m ³ /月) 水使用量	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持

② 23期環境経営活動計画

環境方針	環境目標項目	活動内容
CO ₂ 削減	電気使用量の削減	電気のスイッチをこまめに消す 明るい時は電気を消す 電球を省エネ型に変更する 火曜日以外は、お昼時のPCを「省エネモード」にする
廃棄物削減・省資源	一般廃棄物の計測と削減	事務所の資源ごみと可燃ごみの置場ラベルの表示 可燃ごみの計測 置場のダンボール置場、産業廃棄物一時保管場所の設置 コピー用紙の裏紙の使用
	水使用量の削減	節水ラベルを表示して各自節水に努める

(3) 全体

①環境経営目標

環境目標項目	目標と主な取組			
	23期目標	24期目標	25期目標	26期目標
現場・会社周辺のゴミ拾い	継続	継続	継続	継続
子供を守る安心の家(現場)	継続	継続	継続	継続

②23期環境経営活動計画

環境方針	環境目標項目	活動内容
その他	地域貢献	現場・会社周辺のゴミ拾い 子供を守る安心の家の継続 緑化(5月より)
	エコアクション2.1推進	環境安全教育会議の実施(3ヶ月に1回) 最新法令の確認と法令順守チェック 環境上の緊急事態の訓練

5. 環境経営活動の取組結果と評価

(1)現場部門

評価 A 100%以上 B 100%未満～80%以上 C 80%未満～60%以上
D 60%未満～40%以上 E 40%未満～20%以上 F 20%未満

環境目標	基準値 過去4期の平均	今回目標	今回実績	達成率	評価
ガソリンの節約 過去4期の平均を維持	5456.6 ℓ	5456.6 ℓ	5369.67 ℓ	101.6%	A
軽油の節約 過去4期の平均を維持	26480.9 ℓ	26480.9 ℓ	43238.26 ℓ	61.2%	D
灯油の削減 過去4期の平均を維持			144.0 ℓ		
二酸化炭素排出量	81153.8 kg-co2	—	124367.1 kg-co2	—	

≪ ガソリン・軽油の月別使用量と達成率

A 目標より削減 B 目標より増

	月	A 目標より削減		B 目標より増		評価
		目標値	使用量	増減	評価	
ガソリン	6月	470.9 ℓ	327.3 ℓ	-144	A	
軽油	6月	1761.0 ℓ	1976.8 ℓ	216	B	
ガソリン	7月	470.9 ℓ	324.5 ℓ	-146	A	
軽油	7月	1761.0 ℓ	1841.5 ℓ	81	B	
ガソリン	8月	470.9 ℓ	473.0 ℓ	2	B	
軽油	8月	1761.0 ℓ	1480.0 ℓ	-281	A	
ガソリン	9月	470.9 ℓ	384.2 ℓ	-87	A	
軽油	9月	1761.0 ℓ	2490.2 ℓ	729	B	
ガソリン	10月	470.9 ℓ	465.5 ℓ	-5	A	
軽油	10月	1761.0 ℓ	3400.8 ℓ	1640	B	
ガソリン	11月	470.9 ℓ	523.2 ℓ	52	B	
軽油	11月	1761.0 ℓ	5248.1 ℓ	3487	B	
ガソリン	12月	470.9 ℓ	519.7 ℓ	49	B	
軽油	12月	1761.0 ℓ	3143.2 ℓ	1382	B	
ガソリン	1月	470.9 ℓ	486.9 ℓ	16	B	
軽油	1月	1761.0 ℓ	4707.5 ℓ	2947	B	
ガソリン	2月	470.9 ℓ	583.3 ℓ	112	B	
軽油	2月	1761.0 ℓ	5260.2 ℓ	3499	B	
ガソリン	3月	470.9 ℓ	470.5 ℓ	0	A	
軽油	3月	1761.0 ℓ	3119.6 ℓ	1359	B	
ガソリン	4月	470.9 ℓ	448.4 ℓ	-23	A	
軽油	4月	1761.0 ℓ	3799.8 ℓ	2039	B	
ガソリン	5月	470.9 ℓ	362.5 ℓ	-108	B	
軽油	5月	1761.0 ℓ	6769.9 ℓ	5009	B	

【評価コメント】

現場までの距離や規模によってガソリン・軽油の使用量が変わるので、一概に増減については言えないが、現場の作業員も無駄をなくす意識をもって作業に取り組んでいる。

評価 A 80%以上 B 80%未満～60%以上 C 60%未満～40%以上
 D 40%未満～20%以上 E 20%未満

環境目標	基準値 過去4期の平均	今回目標	今回実績	達成率	評価
産業廃棄物の減量化 (材料の有効活用)	—	分別準備 パトロール実施	分別完了 パトロール完了	95.0%	A
【評価コメント】 各現場ごとにトン袋を分別用に作り、分別してリサイクル用に処分場に排出している。 今後も混合せず、分別、リサイクルして資源を大事していくこと。					
現場ごとに環境への取り組みを推進	—	パトロール実施	パトロール完了	95.0%	A
【評価コメント】 定期的に各現場にパトロールを実施し、必要な指示ができています。					
機械、重機の維持管理	—	機械の仕分け 手順書作成 点間開始	仕分完了 作成完了 点間完了	90.0%	A
【評価コメント】 現場ごとに使用した機械は点検し、使用後は清掃してから倉庫に返却することの徹底。 修理の必要なものは早めに修理に出し、使用できるようにすること。					
使用する化学物質の把握と適正管理	PRTR制度・MSDS	把握・適正管理	把握・適正管理	100%	A
【評価コメント】 使用・保管共に管理できているので問題なし。					
環境に配慮した原材料の使用	—	記録	記録	95.0%	A
【評価コメント】 PLガッター(高見沢製品)を使用した現場があり、RC-40や再生合材以外で使用できている。 AS合材は、改質AS新材を使用する現場があったため、再生材使用率は前年より下がっている。					

(2) 事務所部門

評価 A 100%以上 B 100%未満～80%以上 C 80%未満～60%以上
D 60%未満～40%以上 E 40%未満～20%以上 F 20%未満

環境目標	基準値 過去4期の平均	今回目標	今回実績	達成率	評価
電気使用量 使用量の把握	— kwh	— kwh	6049.35 kwh		
太陽光発電した 電力からの消費量	— kwh	— kwh	3043.54 kwh		
二酸化炭素排出量		—	2734.31 kg-co2	—	
* 電気の二酸化炭素排出係数は、中部電力の平成30年度の実排出係数0.452を使用したもの。					
【評価コメント】 全体的に使用量の削減ができています。夏場冬場は使用量が増加するため、個人個人着るものの工夫をし、引き続き節電に努める。こまめに電気を消す習慣はできている。					
可燃ごみ 過去4期の平均の現状維持	48267.5 g	48267.5 g	53170.0 g	90.7%	B
コピー用紙購入量 過去4期の平均の現状維持	66.5 kg	66.5 kg	88.5 kg	75.1%	C
【評価コメント】 コピー用紙も裏面まで使用しており、使用後はシュレッダーで処分できている。 現場が多いので、今後も裏面使用を徹底していく。					
上水道使用量 前年使用料の現状維持	124.0 m ³	124.0 m ³	122.5 m ³	101.2%	A
【評価コメント】 昨年よりも使用量が減っているので、継続して節水に努め、現状を維持していく。					

健康経営 従業員の健康への意識を高め	—	福利厚生 of 充実	福利厚生 of 充実	70	C
【評価コメント】 従業員へ健康情報を定期的に提供し、健康についての意識を高めることができている。 健康診断、インフルエンザ予防接種も全員接種。 新型コロナウイルス感染症予防のため、全員にマスクを配布。来期は健康経営優良法人に申請を目指す。					

(3) 全体

評価 A 80%以上 B 80%未満～60%以上 C 60%未満～40%以上
D 40%未満～20%以上 E 20%未満

環境目標	今回目標	今回実績	達成率	評価
地域貢献	継続	継続	75.0%	B
【評価コメント】 災害の現場が多いことにより、ごみ拾いは一度だけの実施になってしまったが、引き続き来期も行っていく。 子供を守る家として、現場でも登下校中の子供の様子を見守り、必要な時は声がけ等をするなど地域の方にも開かれた現場を目指す。 今期は大きな災害もあったため、地域の方に災害復旧の現場の様子を知ってもらうためにも、現場の進捗状況を掲載できるようホームページを整えていく必要がある。				
エコアクション21推進	継続	継続	85.0%	A
【評価コメント】 会社一丸となって早期竣工を目指し、ムリ・ムダのない工程を意識している。現場の廃棄物の排出状況やガソリン軽油の使用量など記録管理もよくできている。				

地域貢献・エコアクション21推進活動記録

現場・会社周辺のゴミ拾い

実施年月日		実施場所
2019	年 8 月 20 日 9 時 00 分から 9 時 30 分まで	元災公共土木施設災害復旧工事(中央五丁目)現場
	年 月 日 時 分から 時 分まで	
	年 月 日 時 分から 時 分まで	

地域貢献・エコアクション21推進活動記録

子供を守る家



緑 化 等



環境安全教育と環境活動検討会議

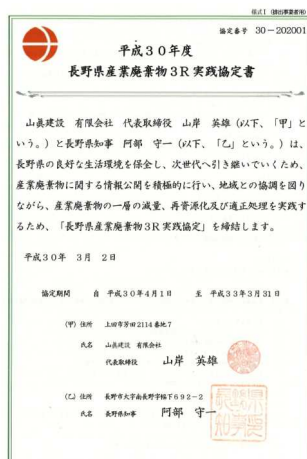
実施年月日	実施場所
2019 年 8 月 10 日 16時30分から	事務所
2019 年 11 月 25 日 16時30分から	事務所
2020 年 2 月 25 日 16時30分から	事務所
2020 年 5 月 24 日 16時30分から	事務所

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社の企業活動に伴い適用される関連法規は、次表のとおりです。
 環境管理責任者が法規の遵守事項について確認をし、現在まで違反のないことを確認しました。
 また、関係機関及び、近隣住民からのクレームも1件もありませんでした。

環境関連法規リスト

法規制等の名称	該当する活動及び要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物 ① 分別・収集日	遵守確認
	産業廃棄物 ① 保管の基準(保管施設・囲い・掲示など) ② 委託先の許可確認(収集運搬・処分業者) ③ 委託契約の締結(契約書の5年間保存) ④ マニフェストの交付、回収、照合(5年間保存) ⑤ 委託者の適正処理を確認 ⑥ 「交付状況報告」書前年度実績を毎年6月30日までに提出	遵守確認
資源有効利用促進法	① 長野県の発注する工事では全工事対象 ② 再生資源利用計画・実施書の作成と1年間の保存 ③ 再生資源利用促進計画・実施書の作成と1年間の保存 ④ CREDAS入力システムにて入力シデータを提出	遵守確認
建設リサイクル法	① 事前説明、告知書、再資源化報告書の提出	遵守確認
産業廃棄物減量化・適正処理実践協定	① 産業廃棄物減量化・適正処理実践計画を ② 実践計画の実施 ③ 積極的な情報公開 ④ 実施結果の長野県知事への提出	遵守確認
水質汚濁防止法	① 事故により、公共用水域に油を含む水が排出された場合は 応急措置を講じ、県知事へ届出	該当なし
騒音規制法	① 特定建設作業を伴う工事の場合は市町村へ作業の7日前 までに届出をし、計測を行い規制値を遵守	該当なし
振動規制法	① 特定建設作業を伴う工事の場合は市町村へ作業の7日前 までに届出をし、計測を行い規制値を遵守	該当なし
排出ガス規制型建設機械指定要領	① 排出ガス規制型建設機械の使用義務	遵守確認



当社は長野県と「産業廃棄物3R実績協定」を締結しています。

7. 代表者による全体評価と見直し

(1)環境経営方針

【コメント・指示事項】

今期から、ICT化の推進を掲げ、効率の良い作業、ムダのない施工を目指し、生産性の向上を目指している。従業員には、健康に働いてもらうために福利厚生を充実させ、健康経営にも取り組んでいる。

また、すべての従業員が同じ目標を掲げ、自分の子供、孫の世代まで、住みやすい環境を維持することを目指している。

去年は、台風19号による記録的な大雨により甚大な災害となった。建設業として環境のため、そこに住む地域の方のために何ができるか、改めて考えることとなった。

工事を長期的にとらえ、安全な生活を守るため、いかにはやく竣工できるかがエコにつながり、自分たちの使命と考える。

(2)活動組織

【コメント・指示事項】

令和1年7月に前社長が会長に、専務が社長に就任した。また令和1年10月より、一般建設業から特定建設業となった。

その他に大きな責任者の変更はないが、従業員皆が同じ意識でエコアクション21に取り組めるよう、エコアクション活動について周知すること。

(3-1)環境経営目標と主な取組

【コメント・指示事項】

現場部門では、ムダのない施工目指し従業員皆が意識できている。

また、目標項目に関しても実施できており評価できる。

事務部門では、今期から、健康経営に取り組み、健康に関する情報を従業員に提供し、福利厚生にも力を入れ、働きやすい職場を目指している。技術者が不足している中、人員不足により厳しい状況である。これから技術者の募集、育成が建設業にとって大変重要になってくる。

また、コピー用紙、節水等も、節約を意識しており、現状維持できている。

全体としては、地域に根差し、地域に活かされている地元の建設業として、何ができるか、何が恩返しできるかを常に考えること。

また、ゴミ拾いのほかに、地域の方々に寄り添うため何か新しいことを企画していく必要がある。

(3-2)環境経営活動計画

【コメント・指示事項】

現場部門ではガソリン、軽油に関しては現場の内容や規模により、使用量が増減するためやむを得ない。但し、ムダのない施工を意識することで、節約できている。

機械・重機の管理もよく管理できている。

事務所部門では、節電、節水共に意識を持っている。コピー用紙も裏紙の使用も徹底できている。

現状維持に努めること。

全体としては、会議、訓練等、しっかりできている。従業員も増えているので、新人にもマニュアル等、きっちり伝えていくこと。

厳しい工期の中、ごみ拾いの実施が時間的に難しいことがある。可能な限り、実施すること。

(4)その他

【コメント・指示事項】

特になし。

(5)総合評価

今期は、昨年の台風19号災害、そして新型コロナウイルス感染症と歴史にも記憶にも残る年となり、我々建設業を生業とする者にとって、何ができるか考えさせられる年となった。

災害復旧の現場は危険と隣り合わせであり、出水期ではあるが作業員の安全も確保しながら一刻も早く地域の方々が通常の生活を送れるよう作業に当たっている。

効率よく、ムダのない作業で早期竣工を目指し、それがエコになると特に意識しなくも、我々が現場で真剣に取り組むことで、自然とエコに繋がっていくのである。

新型コロナウイルスにより、全国的に見ると何件か工事ストップなども見られたが、当社の地域では、幸いにもそのようなことは無かった。しかし、まだ終息は見えてこない。また気候にしても、各所で災害が起こりやすい異常気象となっている。

これから先、さらに環境や地域住民のことを考え、地域に根差した会社としてさらなる発展を目指し、皆様に貢献したいと願う。

2020年7月20日

代表取締役社長 山岸 信幸

8. 24期の取り組み内容

環境経営方針	環境経営目標項目	活動内容
CO2削減	ガソリン・軽油 現状維持を目指す	運転者は燃費を記録簿に記録し、把握する 同じ現場の場合は、乗り合いに努める 急発進・急加速をしない
ICT化の推進	生産性の向上 省人化、省力化施工技術 を目指す	ICT機材をを導入し、人員の削減、 時間の短縮につなげる ムリ、ムダのない早期竣工を目指す
廃棄物削減・省資源・現場全体の推進	産業廃棄物の減量化 (材料の有効活用)	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パト ロールでチェックする
	現場ごとに環境への 取組を推進	分別の徹底、材料の有効活用を、安全・環境パト ロールでチェックする
化学物質適正管理	使用する化学物質の把握 と適正管理	機械の仕分けを行い、番号ステッカーを貼る 点検記録用紙、点検の手順書を作成する 現場終了時に点検・整備を行い、責任者に提出する (年に1回は機械の点検を行う：5月以降)
		室内保管と使用料の把握 保管場所の徹底
グリーン購入	環境に配慮した原材料 の使用	環境に配慮した原材料の使用に努める

環境経営方針	環境経営目標項目	活動内容
CO2削減	電気使用量の削減 使用量の把握（ソーラー パネル設置のため）	電気のスイッチをこまめに消す・明るい時は電気を 消す 電球はLEDを使用する 火曜日以外は、お昼時のPCを「省エネモード」にする
廃棄物削減・省資源	一般廃棄物の計測と削減 現状維持を目指す	事務所の資源ごみと可燃ごみの置場ラベルの表示 可燃ごみの計測 置場のダンボール置場、産業廃棄物一時保管場所の 設置 コピー用紙の裏紙の使用
	水使用量の削減 現状維持を目指す	節水ラベルを表示して各自節水に努める
健康経営の推進	従業員の健康管理を行い 生産性の向上を目指す	健康診断の受診 健康に関する情報の収集、周知。 社内レクレーション等の開催 健康経営優良法人の認定
環境経営方針	環境経営目標項目	活動内容
その他	HPでの広報	E A 2 1の他の環境活動を含めて、ホームページを 充実させ毎月更新する
	地域貢献	現場・会社周辺のゴミ拾い 子供を守る安心の家の継続 緑化（5月より）
	エコアクション21推進	環境安全教育会議の実施 最新法令の確認と法令順守チェック 環境上の緊急事態の訓練